

代表質問



所信表明を問う



自民誠心会 ● 菅沼 利紀 議員

問 菅総理の所信で政府は2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を明言したが、本市として取り組めることは。

答 第二次湖南市地域自然エネルギー地域活性化戦略プランに基づき自然エネルギー活用、省エネルギー推進、SDGs推進について市民の理解を深めていくことが考えられます。

問 所信には新型コロナウイルスの対応がないが、市の方向性は。

答 国や県の動向を注視しながら、関係機関である保健所等と連携していきます。また、感染予防の啓発活動やワクチン接種の事前準備を整えます。

問 新型コロナウイルスの影響により、田舎である魅力が上がり移住定住には絶好の機会であるが、早急に取り組めること

はあるか。

答 早急にはありませんが、本市の特徴をアピールし、行政サービスの向上や観光資源の開発に取り組む必要があります。

問 12項目の公約に対する「明らかな意図」を明確にするとは。

答 子育て政策を優先したいと考えています。

問 市役所の維持管理について指示を行ったとあるがどのような内容であるか。

答 市民から「市役所が良くなったなあ」と言ってもらえる様に、庁舎前のウツクシマツの管理、積年ワックスの除去、庁舎トイレの改善、エレベーターのきしみ対応、1階ホール照明のLED化、庁舎外壁の清掃、庁舎周りの落ち葉清掃、ブラインドの修繕の8点を指示しました。



生田市長の所信を問う!



みらいの風 ● 奥村 幹郎 議員

予算編成への取り組みについて

答 12項目の政策について取り組んでいきたい。しかし、令和3年度の予算編成については、終息の見えない新型コロナウイルス感染症拡大防止と地域の経済対策を最優先に取り組みます。

それぞれの政策の実施時期については、しっかりと見極め取り組んでいきます。

財源の確保について

答 税収の減少だけでなく、人口減少や少子高齢化の進展を見据え市民の皆様・議会の皆様としっかり対話し、選択と集中をもって対応させて頂く必要があります。またいろんな仕組みを利用していきながら進めていきたい。

第二次湖南市総合計画後期基本計画の生田市長の考え方について

答 このまちで生きて、次の時代に渡していくために、まちづくり協議会の位置づけをもう一度意思統一したい。しばらく時間を頂き進めていきます。

産業振興について

答 工場・事業所が多く立地しており地域経済に大きく貢献して頂いています。拡張・新規立地・国内回帰などに対応する用地確保が大きな課題です。市として出来る限りの支援は行っていきます。

観光振興については、初期投資を抑えながら地域に人を、リピーターを呼び込む「新しい価値」を見出していきたい。

その他、命とくらしを守ることについて、文化・教育・子育て支援について、を質問しました。